

# 県立病院が担っている役割

県立病院は、様々な政策的医療を行うにあたり、不採算分野等、一般会計から繰入金  
が投入されている。

今回、各県立病院の置かれている環境や実績について資料とした。

- 共通

- 一般会計繰入金の内訳(H21)

- 広島病院

- 県内400床以上の病院

- 主な指定状況

- 救急医療

- 成育医療

- がん医療

- 災害医療

- 安芸津病院

- 安芸津病院診療圏域の状況

- 救急医療, 小児医療

- 訪問看護の取組

# 県立病院が担っている役割

## 1 一般会計繰入金 (1) 法的な根拠と繰入れルール

### 地方公営企業法 第17条の2第1項, 第17条の3

根 拠	対 象	繰入ルール	備 考
○法第17条の2第1項1号 性質上、地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費 (同法施行令第8条の5, 繰出通達)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療</li> <li>・集団検診, 医療相談腎</li> <li>・各種行政委員等併任費用 ・移植推進・情報センター</li> </ul>	救急医療部門の収支差 医療相談職員人件費(1/2) 各種委員に係る人件費(時間相当) など	その他 医業収益 ～3条 医業収益
○法第17条の2第1項2号 能率的経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費 (同法施行令第8条の5, 附則第14項, 繰出通達)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊医療に要する経費 【リハ, 周産期, 精神, 小児, 臨床腫瘍, 生殖医療 など】</li> <li>・高度医療に要する経費【放射線】</li> <li>・建設改良に伴う企業債利息</li> <li>・退職給与金の負担金</li> <li>・移管に伴う退職手当償元利償還経費</li> </ul>	各対象部門の収支差, 減価償却費の1/3～1/2 高度機器に係る収支差, 減価償却費の1/3 企業債利息償還額の1/2(H14以前分は2/3) 一般会計在職期間分相当額(按分) 2病院移管に伴う退職手当償元利償還金(10/10)	負担金交付金 ～3条 医業外収益
○法17条の3 経費分 災害の復旧その他特別の理由により必要がある場合には、一般会計又はその他の特別会計から補助することができる経費 (繰出通達, 県独自)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共済組合追加費用</li> <li>・研究研修経費</li> <li>・基礎年金拠出金</li> <li>・医師確保, 人材育成</li> <li>・児童, 子ども手当 ・がん診療機能強化</li> <li>・緩和ケア支援室 など</li> </ul>	恩給制度に伴う負担額(10/10) 医療職等の研究研修費の1/2 職員本俸の21.6/1,000, 期末手当の16.8/1,000 研修医, 指導医人件費の一部 国庫補助, 県補助金など	一般会計補助金 ～3条 医業外収益
○法第17条の2第1項2号 病院及び診療所の建設又は改良に要する経費(当該経費に充てることができる病院事業の経営に伴う収入の額を超える部分に限る) (同法施行令附則第14項, 繰出通達)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院建設改良に伴う企業債元金償還金</li> <li>・建設改良費, 医療機器整備(企業債対象外)</li> </ul>	企業債元金償還額の1/2(H14以前分は2/3) 建設改良に係る経費の1/2	一般会計出資金 ～4条 資本的収入

# 県立病院が担っている役割

## 1 一般会計繰入金 (2) 繰入金の内訳

(平成21年度) 【単位:千円】

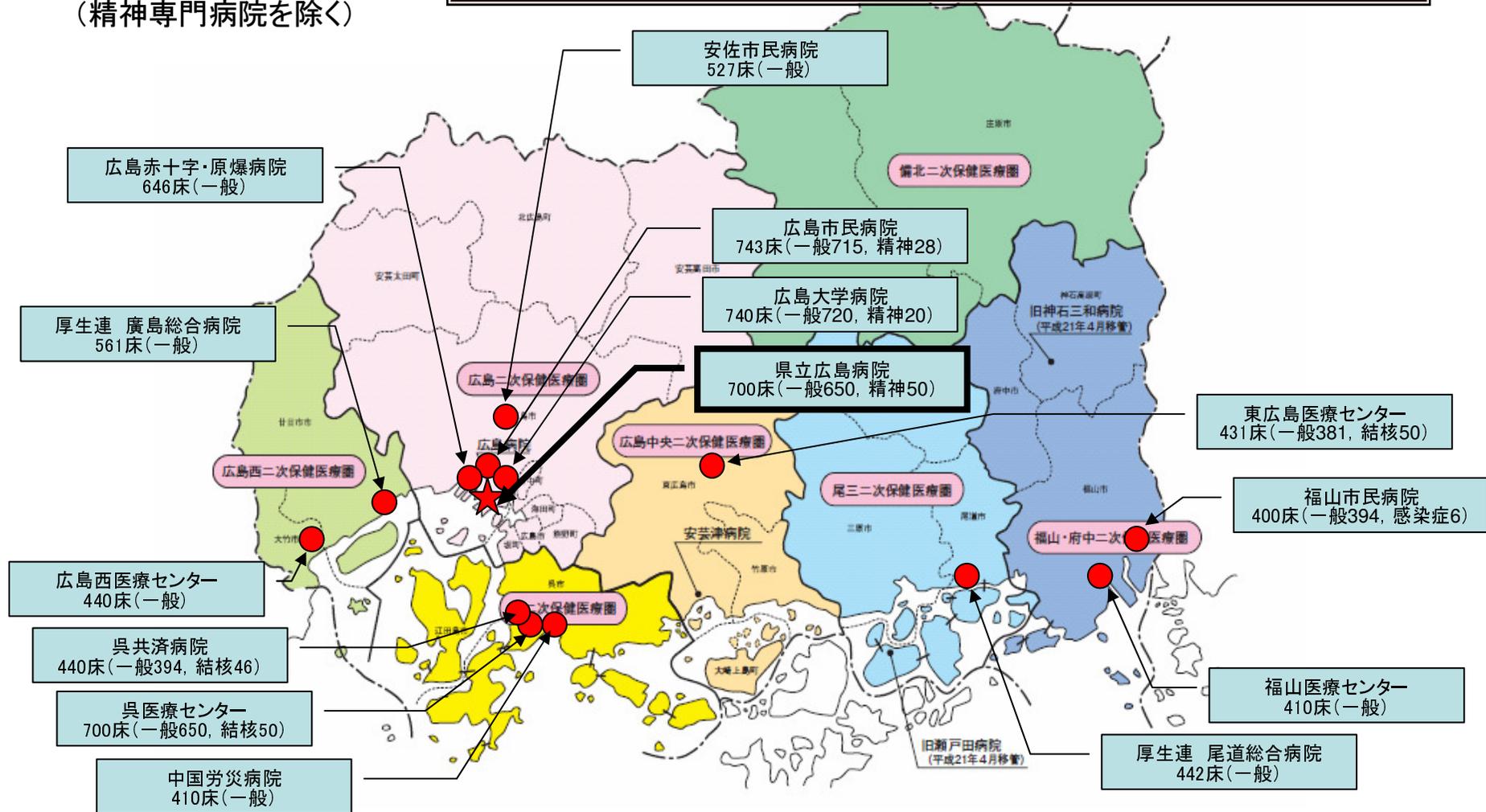
主な項目	説明	繰入の考え方	計	広島	安芸津	備考 (移管分)
救急医療	●	救急医療部門の収支差	604,713	539,739	64,974	
特殊医療	●	各対象部門の収支差, 減価償却費の1/3~1/2	643,305	593,063	50,242	
高度医療	●	高度機器に係る収支差, 減価償却費の1/3	138,790	138,790	0	
その他(各種行政委員, 医療相談)		医療相談職員人件費(1/2), 行政委員人件費	50,830	50,830	0	
研究研修経費		医療職の研究研修費の1/2	44,602	39,409	5,193	
医師確保・人材育成機能強化		研修医, 指導医人件費の一部	145,455	139,845	5,610	
その他		国庫補助, 県補助金など	102,009	77,238	24,771	
小計			1,729,704	1,578,914	150,790	
企業債利息		企業債利息償還額の1/2(H14以前分は2/3)	535,505	527,789	7,716	(15,731)
退職手当債		2病院移管に伴う退職手当債元利償還金(10/10)	125,268	114,457	10,811	(125,268)
退職給与金		一般会計在職期間分相当額(按分)	94,547	46,072	48,475	
共済追加費用		恩給制度に伴う負担額(10/10)	360,506	318,143	42,363	
基礎年金拠出金公費負担		職員本俸の21.6/1,000, 期末手当の16.8/1,000	205,860	181,341	24,519	
小計			1,321,686	1,187,802	133,884	(140,999)
収益的収入合計			3,051,390	2,766,716	284,674	(140,999)
企業債元金		企業債元金償還額の1/2(H14以前分は2/3)	1,326,463	1,216,990	109,473	(151,222)
施設整備費 ほか		起債対象外の建設改良に係る経費の1/2	29,268	24,986	4,282	
資本的収入合計			1,355,731	1,241,976	113,755	(151,222)
総合計			4,407,121	4,008,691	398,430	(292,221)
移管病院分(再掲)			292,221	267,003	25,218	

# 県立病院が担っている役割

## 2 広島病院の役割と成果 (1) 広島県内の基幹病院

広島県内の400床以上病院  
(精神専門病院を除く)

14医療機関【国(6), 自治体(4), 公的・社会保険関係団体(4), 民間(0)】



# 県立病院が担っている役割

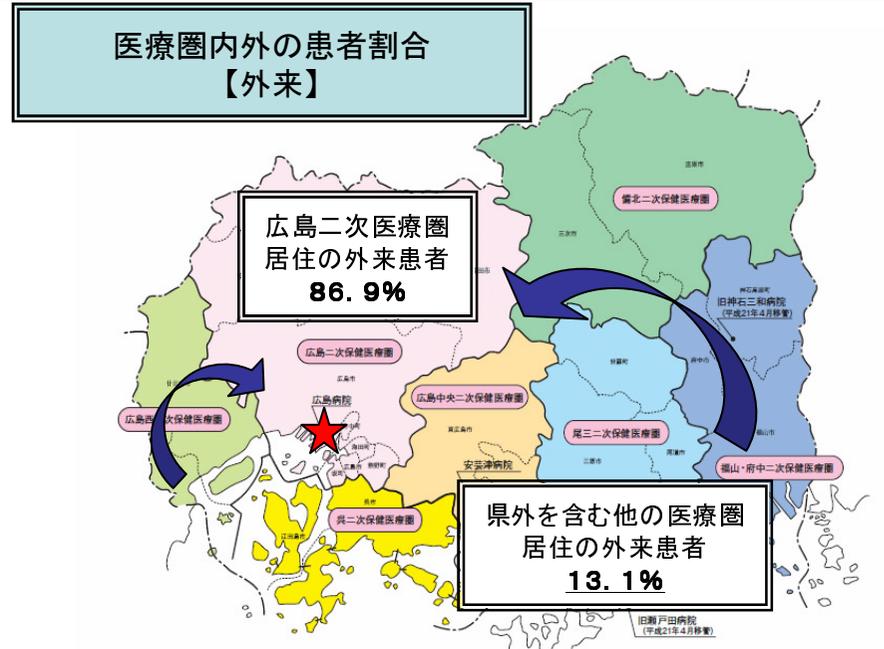
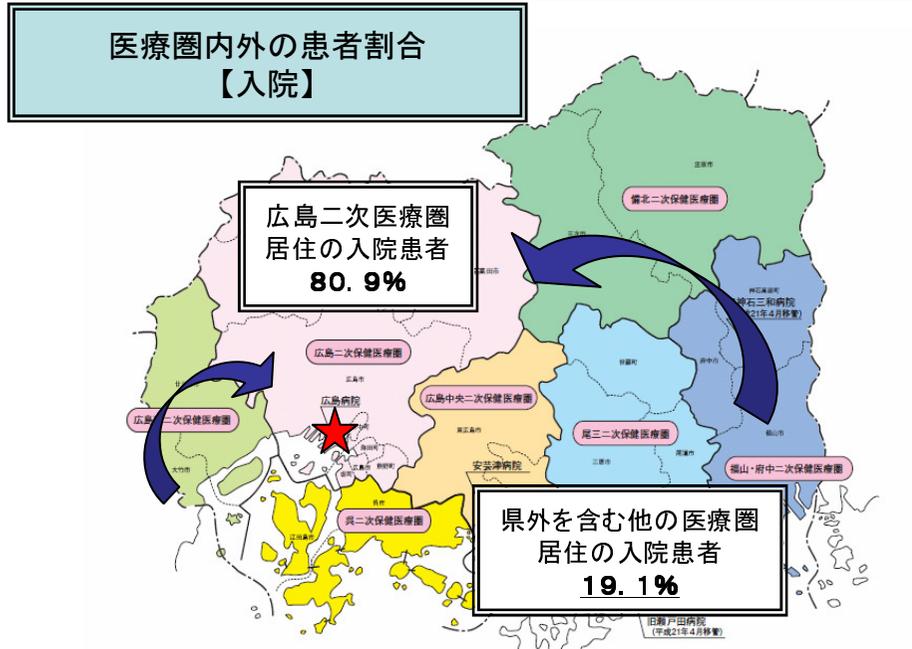
## 2 広島病院の役割と成果 (2) 主な指定状況

### ● 広島県内の指定状況

区分	広島県	地方公共団体	国	日赤等 公的医療機関	社会保険関係	その他 (公益法人等)	医療法人・個人	
救命救急センター(全国212)	(5)	県立広島病院	広島大学病院					
		広島市立広島市民病院	呉医療センター					
		福山市民病院						
総合周産期母子医療センター(全国75)	(2)	県立広島病院						
		広島市立広島市民病院						
地域周産期母子医療センター (全国236(うち休止中6))	(7)	市立三次中央病院	広島大学病院	尾道総合病院			土谷総合病院	
			呉医療センター					
			中国労災病院					
			福山医療センター					
がん診療連携拠点病院(全国351)	(11)	県立広島病院	広島大学病院	広島赤十字・原爆病院				
		広島市立広島市民病院	呉医療センター	広島総合病院				
		広島市立安佐市民病院	東広島医療センター	尾道総合病院				
		福山市民病院						
		市立三次中央病院						
地域医療支援病院(全国220)	(12)	県立広島病院	福山医療センター	広島総合病院		呉市医師会病院		
		尾道市立市民病院	呉医療センター	広島赤十字・原爆病院		三原市医師会病院		
		広島市立広島市民病院	中国労災病院	尾道総合病院				
		広島市立安佐市民病院						
基幹災害医療センター(全国56)	(1)	県立広島病院						
地域災害医療センター(全国530)	(13)	広島市立広島市民病院	呉医療センター	広島赤十字・原爆病院			興生総合病院	
		広島市立安佐市民病院	中国労災病院	広島総合病院			日本鋼管福山病院	
		福山市民病院		三原赤十字病院				
		市立三次中央病院		尾道総合病院				
				庄原赤十字病院				
へき地医療拠点病院(全国257)	(7)	県立広島病院	広島西医療センター	庄原赤十字病院				
		市立三次中央病院		吉田総合病院				
		神石高原町立病院						
		安芸太田病院						
エイズ治療拠点病院 (○)中国・四国ブロック拠点病院 (■)エイズ治療中核拠点病院	(5)	県立広島病院(○)(■)	広島大学病院(○)					
		広島市立広島市民病院(○)(■)	呉医療センター					
			福山医療センター					
臨床研修病院(全国2,526)	(28)	(協力型のみは除く)	7	6	4	3	2	6
小児救急医療拠点病院	(3)	広島市立舟入病院					尾道総合病院	
		市立三次中央病院						
第1種感染症指定医療機関(全国30)	(1)		広島大学病院					

# 県立病院が担っている役割

## 2 広島病院の役割と成果 (3) 広域性



圏域外シェアの高い診療科	シェア	実患者数
産科	25.3%	(246 / 971人)
新生児科	35.9%	(154 / 429人)
小児外科	36.5%	(114 / 312人)
生殖医療科	25.2%	(27 / 107人)

圏域外シェアの高い診療科	シェア	延患者数
産科	17.1%	(1,611/9,444人)
新生児科	30.6%	(668/2,185人)
小児外科	24.9%	(659/2,648人)
生殖医療科	25.7%	3,194/12,451人)
小児感覚器科	23.9%	(1,118/4,672人)

医療圏域外の患者シェアは、入院で19.1%、外来で13.1%となっているが、特定の分野においては、高度・専門性を求めて、圏域外からの多くの患者（紹介を含む）に対して医療を提供していることがわかる。



# 県立病院が担っている役割

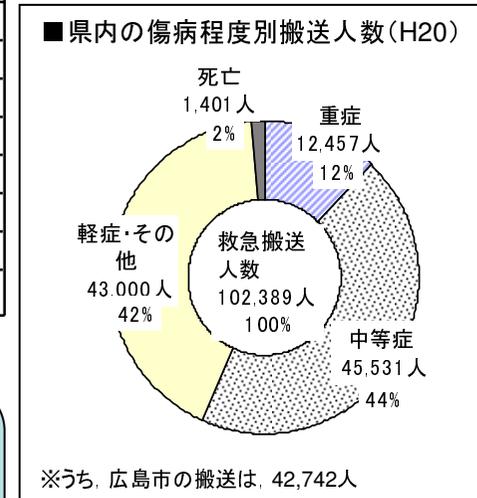
## 2 広島病院の役割と成果 (4) 救急医療

広島県内 救命救急センターの受入状況(平成21年度)

(単位:人)

区分	県立広島(A)	広島大学	広島市民	呉医療C	福山市民	5センター計(B)	県シェア(A)/(B)	
救命救急C病床数(床)	25床	20床	26床	30床	24床	125床	20.0%	
救急重受入人数	病院全体	3,316	1,999	5,891	2,987	2,460	16,653	19.9%
	救命救急C	2,565	1,019	756	1,221	2,460	8,021	32.0%
入院患者数	7,038	6,213	6,785	6,363	5,294	8,534	22.2%	
(1日平均)	(19.3)	(17.0)	(18.6)	(17.4)	(14.5)	(86.8)		
救命救急入院料算定	1,586	1,042	1,595	1,483	1,182	6,888	23.0%	
重症患者実数	1,010	708	1,830	889	872	5,309	19.0%	
病院外心肺停止	105	120	174	124	112	635	16.5%	
重症脳血管障害・心不全等	303	192	1,252	284	293	2,324	13.0%	
重症外傷、熱傷等	227	154	12	143	313	849	26.7%	
重症急性中毒等	201	120	114	212	61	708	28.4%	
特殊感染症	1	1	9	6	6	23	4.3%	
重症呼吸不全	129	92	105	116	56	498	25.9%	
重篤な肝不全・急性腎不全	35	21	23	4	23	106	33.0%	
その他の重症病態	9	8	141	0	8	166	5.4%	

※救命救急センター充実度調査(H21)



繰入金  
540百万円

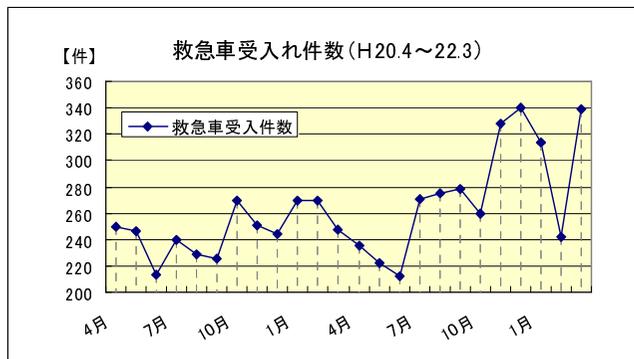
21年度の救急車受入数は、救命救急センターを擁する5施設のなかで、2番目に多く(3,316件)、救命救急センターへの受入件数では、最も多い(2,565件)。救命救急入院料を算定する重傷者等の受入が多く、特徴として、重症外傷や重症急性中毒など、外因性が多い。

# 県立病院が担っている役割

## 2 広島病院の役割と成果 (4) 救急医療

### ● 県立広島病院の救急車等受入状況(平成21年度)

	受入数	比率
病院全体	3,316	100%
3次	627	18.9%
1次, 2次	2,689	81.1%



### ● 救命救急センターのホットライン受入状況(平成21年度)

ホットライン(救急隊専用電話)による3次救急診療依頼と応需状況	救急隊依頼数	救急隊受入数	受入不可(比率)	受入不可理由		
				処置中	満床	その他
	570	496	74(13%)	37	34	3

ホットラインの受入症例内訳	CPA	外傷	中毒	他の外因性	疾病	その他	計
	104	180	61	13	136	2	496

### ● 時間外救急患者等受入状況(救急車含む)

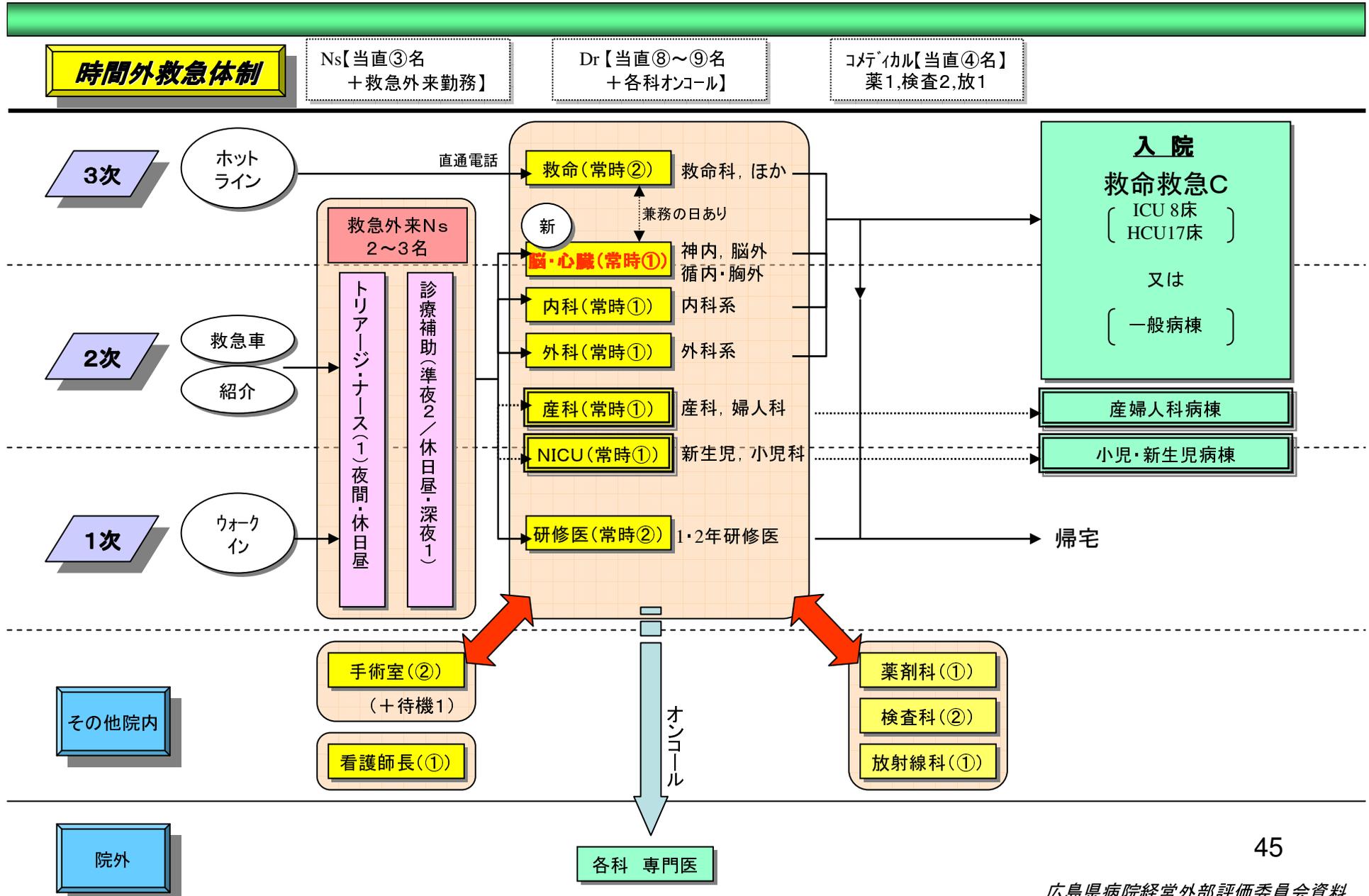
	17:15~24:00	0:00~8:30	土日祝の昼	合計	うち入院
20年度 (構成比)	1,826 (36.9%)	663 (13.4%)	2,456 (49.7%)	4,945	1,042



	17:15~24:00	0:00~8:30	土日祝の昼	合計	うち入院
21年度 (構成比)	2,770 (44.1%)	1,239 (19.7%)	2,269 (36.1%)	6,278	1,604
増加率	+51.7%	+86.8%	▲7.6%	+27.0%	+53.9%

# 県立病院が担っている役割

## 2 広島病院の役割と成果 (4) 救急医療



# 県立病院が担っている役割

## 2 広島病院の役割と成果 (5) 成育医療(周産期医療)

### 県立広島病院の成育医療実績

・平成10年に総合周産期母子医療センターに中四国で初めて指定されて以降、全国トップクラスの実績がある広島県周産期医療の中核的な役割を担っている。

**産科** ~ 早産, 多胎, 妊娠高血圧症候群, 前置胎盤, 合併症妊娠などハイリスクの妊娠・分娩に対し24時間体制で高度な集中的な管理を行うため母体・胎児集中治療室(OICU)6床を備え, ヘリコプターなどの緊急搬送にも対応するとともに, 出生児は直ちに新生児科(NICU)管理が可能となる診療体制を整備している。

- 分娩件数 822件 うち帝王切開273件(過半数が緊急帝王切開)  
他施設からの紹介は, 3/4以上。  
入院患者の25.3%は, 他の二次医療圏患者。  
分娩取扱施設数の減少も影響し, 分娩件数は増加傾向。

- 妊産婦救急搬送加算 125件  
うち, 広島二次医療圏以外からの搬送 55件(44%)

妊産婦救急搬送加算とは...直近3ヶ月以内に受診歴のない患者の救急搬送に係る入院加算。  
搬送時に, 緊急の分娩に対応できる医師, 設備が必要。



県内産婦人科医師数		
H16	H20	増減
246	237	▲9

県内分娩取扱医療施設数		
H18.10	H22.9	増減
75	64	▲11

# 県立病院が担っている役割

## 2 広島病院の役割と成果 (5) 成育医療(周産期医療)

### 県立広島病院の成育医療実績

**新生児科** ～ ハイリスク分娩で生まれた新生児への対応だけでなく、24時間体制で院外からの入院依頼、分娩立会い依頼に対応し、ヘリコプター搬送によって県内遠隔地からも入院を受け入れている。新生児集中治療室(NICU)9床、後方病床18床。

■ 県内のNICU 県内のNICU病床数は、現在48床(ほか、東広島医療センター整備中)

● 低体重児 広島県の低体重児出生数(2500g未満)は、2,391人(出生数の9.4%)(出生数が減少傾向にある中、ハイリスク児の出生数、出生率は増加) 県立広島病院の2,500g未満の児は200人で、シェアとしては8.4%であるが、1500g未満では、県内で大きなウエイトを占めている。

● 平成19～21年における生存率  
出生時体重が1,000g未満の超低出生体重児の生存率は97%。  
500g未満児は8名入院し、このうち7名が生存退院。  
在胎22～25週の超早産児は44名入院し、全例生存退院。

● 新生児心肺蘇生法インストラクター  
新生児心肺蘇生法を周産期に関わる医療従事者に習得させる事業への貢献

- ・インストラクター資格保持者3名(産科医師①, 新生児科医師②)
- ・インストラクター実績(H21:2回(延3名), H22:1回(1名))

### ● 県内のNICU病床数

	NICU 病床数	比率
<b>県立広島病院</b>	<b>9床</b>	<b>18.8%</b>
広島市民病院	9床	18.8%
広島大学病院	6床	12.5%
土谷総合病院	3床	6.3%
呉医療センター	6床	12.5%
福山医療センター	9床	18.8%
尾道総合病院	6床	12.5%
東広島医療センター	α	—
合計	48床 + α	

低体重児出生数	～500g	～1000g	～1500g	～2500g
広島県内	12	58	121	2200
県立広島病院	4	24	20	152
シェア	33%	36%	17%	7%

※実績数値はH20。県内数値は、周産期医療Net Hiroshimaから

繰入金  
273百万円

# 県立病院が担っている役割

## 2 広島病院の役割と成果 (5) 成育医療(周産期医療)

### 県立広島病院の成育医療実績

**生殖医療科** ~ 平成19年度に、新たに設置した診療科で、体外受精・胚移植を中心とした生殖補助医療と、不妊や習慣流産の原因となっている子宮筋腫、腹腔内癒着、子宮内癒着、子宮奇形などに対する内視鏡下手術を2本柱として診療している。生殖外科もできる病院は、全国的にも少なく、中四国地区には無い。

繰入金  
49百万円

- 患者状況 入院・外来患者ともに、25%以上が他の二次医療圏患者。  
初診患者数:600人、外来延患者数12,594人  
新規入院患者数108人、入院延患者数943人
- 実績 採卵237件、胚移植154件、人工授精395件  
全国平均と比較して、極めて優れた生殖補助医療成績をあげている。  
体外受精適応患者には、正しい理解と共通認識を持っていただくため、セミナーを必ず受講していただくこととしている。  
(H21:1回あたり約50名、延298名受講)

**小児科** ~ 小児腎臓科は、中四国地域で唯一の腎臓病を専門とする小児科。  
**小児腎臓科** 体重1kgの低体重児に対する体外循環療法や腹膜透析療法も実施している。

- 実績
  - ・急性血液浄化療法 ~ 中四国地区における小児の急性血液浄化療法(38件[H19~20])のうち、10件(26%)を担う。
  - ・腎生検 ~ 年間15~20例の小児腎生検を実施(県内の9割以上)。
  - ・県内の小児慢性特定疾患(腎疾患)の約半数の患者に対して診療を実施している。
  - ・日本小児科学会専門医研修支援病院として、小児科医師を育成(県内では、県立広島病院、広島大学病院、広島市民病院の3施設)

繰入金  
24百万円

生殖補助医療成績		県立広島 (H21)	全国集計 (H20)
新鮮胚 使用	治療周期数	22	28,609
	妊娠数(率)	12(54.5%)	6,808(23.8%)
	出生数(率)	11(50.0%)	4,296(15.0%)
凍結胚 使用	治療周期数	101	56,494
	妊娠数(率)	46(45.5%)	18,194(32.2%)
	出生数(率)	34(33.7%)	11,527(20.4%)
顕微受精 治療	治療周期数	21	28,547
	妊娠数(率)	7(33.3%)	5,691(19.9%)
	出生数(率)	5(23.8%)	3,473(12.2%)
合計	治療周期数	144	113,650
	妊娠数(率)	65(45.1%)	30,693(27.0%)
	出生数(率)	50(34.7%)	19,296(17.0%)

※全国集計は、日本産婦人科学会の生殖補助医療成績

### 小児慢性特定疾患(腎疾患)の患者数

地域	県立広島	全患者数	比率
広島県(広島市・福山市を除く)	48	95	50.5%
広島市	51	105	48.6%
福山市	—	29	—
合計	99	229	43.2%

※平成22年3月31日現在

# 県立病院が担っている役割

## 2 広島病院の役割と成果 (5) 成育医療(周産期医療)

### 県立広島病院の成育医療実績

**小児感覚器科** ~ 小児の「聞こえにくい」、「ことばが遅い」、「発音が悪い」、「見えにくい」、「視野がせまい」といった訴えに対応する診療科で、平成18年度に新たに設置。言語聴覚部門と視覚部門がある。

繰入金  
6百万円

- 主な診療 (1)難聴の早期発見と補聴器の適合・人工内耳の適応と調整  
(2)言語発達障害及び言語性学習障害の早期発見と言語訓練  
(3)嚙下障害への支援

- 実績 診断等 ~ 右表のとおり、県内対象患者の多数に対し、診療・訓練等を実施している。開設から現在までに2,000名を超える登録があり、その7割が未就学児。

手術 ~ 未熟児網膜症に対するレーザー手術 12例22眼  
小児斜視手術 20例

### ●小児感覚器科 患者数等実績

	県立広島 (H21)	年間発生件数 (予測)
1歳未満の難聴児	23	21件/年
難聴診断件数 (小学生以下)	30	50件/年
学習障害	142	1,000~ 1,200件/年
その他の発達障害	78	

# 県立病院が担っている役割

## 2 広島病院の役割と成果 (6) がん医療

### 広島県のがん診療連携拠点病院

平成18年度に、がん医療水準の向上と地域格差の解消を目的として、二次保健医療圏に1か所程度、県内では10か所の「地域がん診療連携拠点病院」と、県に1か所の「都道府県がん診療連携拠点病院」(広島大学病院)が指定されている。  
うち広島二次医療圏には、県立広島病院を含む5つの医療機関が指定されている。  
なお、指定されている11病院全て、公立又は公的医療機関。

### ● 県立広島病院のがん医療実績 ～拠点病院との比較(H20)～

区分		病院名	広島病院 (A)	拠点病院計 (B)	(A) / (B)	対象期間
患者数	年間新入院患者数: A		12,398	124,765	9.9%	H20.1～12月
	年間新入院がん患者数: B		2,579	28,957	8.9%	
	B / A (%)		20.8%	23.2%	—	
	年間外来がん患者延数		55,211	609,681	9.1%	
手術療法	悪性腫瘍手術総数		182	2,452	7.4%	H21.6～7月(2ヶ月)
化学療法	化学療法延患者数		599	6,481	9.2%	H21.6～7月(2ヶ月)
	・入院患者数		136	2,424	5.6%	
	・外来患者数		463	4,057	11.4%	
放射線治療	患者実数		544	4,260	12.8%	H20.1～12月
	・対外照射		523	4,100	12.8%	
	・小線源治療		21	160	13.1%	
緩和ケア	緩和ケア病棟入院料算定件数		693	2,520	27.5%	H21.6～7月(2ヶ月)
相談支援	相談件数		401	2,722	14.7%	H21.6～7月(2ヶ月) ※がん関係
	・対面相談		169	1,769	9.6%	
	・電話相談		232	953	24.3%	

※(独)国立がん研究センターがん対策情報センターHP掲載の、各がん診療連携拠点病院公表データから作成  
※平成20年当時の拠点病院数は10病院。21年度更新時に11病院となった。



### ● 比較

- ・シェアが平均を上回るもの  
～外来化学療法, 放射線治療, 緩和ケア, がん相談
- ・シェアが平均を下回るもの  
～がん患者数, 手術療法

# 県立病院が担っている役割

## 2 広島病院の役割と成果 (6) がん医療

繰入の対象とされているがん医療

### ●化学療法

(1)設置～平成18年度に、あらゆる固形がんを対象とした化学療法を専門とした、従来の臓器別診療科とは異なった臓器横断的な科として「臨床腫瘍科」を設置し、①がんの治癒あるいは寛解導入、②がんに伴う苦痛の除去、の2つを大きな柱としている。

(2)実績～○延患者数 入院5,601人, 外来6,967人(H21)  
○臨床腫瘍科初診患者(225人)に占める紹介患者 171人(76%)  
うち、がん拠点病院からの紹介 36人(21%)  
○外来化学療法実施件数 H21:3,960件(H21)

繰入金  
65百万円

胃	肺	肝胆膵	大腸	乳腺	婦人科	その他	合計
453	488	653	1,153	842	174	197	3,960

○がん化学療法に関するセカンドオピニオン(160件 H18.7～22.3)  
・広島二次医療圏内からの紹介(57%(うちがん拠点病院52%))  
・広島二次医療圏外からの紹介(43%(うちがん拠点病院51%))



国立がんセンター中央病院と業務上の提携を結び、診療における知識や技術の習得の交流を、臨床腫瘍科開設(H18)以来継続しており、最新の治療法を提供している。

臨床腫瘍科では、がん薬物療法専門医の受験資格獲得に必要な、複数の臓器・領域の経験ができるため、人材育成にも積極的に取り組んでいる。  
専門医: 県内9名(全国14位)、うち広島病院2名。今年度2名受験

### ●放射線治療(リニアック)

(1)設備～高精度直線加速器(リニアック)、放射線治療室内CT、治療計画用CT、3次元治療計画装置、遠隔操作式小線源治療装置(RALS)、前立腺癌密封小線源治療システムを有し、放射線治療の対象となる全ての疾患に対して最適な治療を行っているが、高額機器であるリニアックについて、高度医療として繰入対象としている。

(2)実績～○放射線治療新規患者数 398人(H21)

繰入金  
8百万円

※疾患別	乳癌	肺	前立腺	肝	頭頸部	食道	子宮	その他
	109	55	49	32	30	27	26	70

○リニアック照射延患者数 7,805人



51

# 県立病院が担っている役割

## 2 広島病院の役割と成果 (7) 災害医療

### ●基幹災害医療センター関連活動(平成21年度)

種別	内容	場所	年	月	参加者
実習	除染 TENT 組み立て	院内	H21	4	院長, 副院長, 事務局職員多数, 中央監視室職員
訓練	広島県ドクターヘリの事業搭乗訓練	県防災航空センター	H21	5	医師3名, 看護師2名
会議	広島DMAT運営要綱等に係る説明会	広島県庁	H21	7	事務1名
研修	DMAT技能維持研修	愛媛県庁	H21	7(2日)	医師2名, 看護師2名, 事務1名
会議	緊急被ばく医療機関会議出席	広島大学病院	H21	7	医師1名, 事務1名
実災害	東海地震によるDMAT待機要請	静岡県	H21	8	医師2名, 看護師2名, 事務2名
訓練	総合防災訓練(入力訓練)	院内	H21	9	事務1名
訓練	集団災害医療救護訓練	呉医療センター	H21	10	医師2名, 看護師2名, 事務2名
訓練	緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練(通信訓練)	院内(本訓練は島根県出雲市)	H21	10	事務1名
研修	DMAT研修	兵庫県災害医療センター	H21	10(4日)	医師2名, 看護師2名, 事務1名
訓練	広島空港航空機事故訓練(実働訓練)	広島空港	H21	10	医師1名(評価役)
訓練	広島市南区医師会災害対策医療研修会(図上訓練)	広島市南区役所	H21	11	医師1名(進行役)
訓練	広島市消防局国際救助隊合同訓練(1/4)	広島市(福田訓練場)	H21	11	医師1名
訓練	同上 (2/4)	同上	H21	11	医師1名, 看護師1名
訓練	同上 (3/4)	同上	H21	11	医師1名, 看護師1名
訓練	同上 (4/4)	同上	H21	12	医師1名, 看護師2名, 事務1名
会議	DMAT連絡会議	国際能力開発支援センター	H22	2	医師1名
訓練	緊急被ばく医療機関会議主催 除染訓練	院内	H22	2	医師3名, 看護師4名, 放射線技師4名
会議	中国地方DMAT連絡会議	山口県健康づくりセンター	H22	2	医師4名, 看護師4名, 事務3名
会議	緊急被ばく医療機関会議出席	広島大学病院	H22	3	医師1名, 事務1名

・平成21年度に研修に参加したDMAT隊は、広島病院2チーム目。  
 ・実災害時に対応するため、地域における訓練の企画・参加を継続している。  
 ※直近では、H22.7の集中豪雨発生時のDMAT待機要請に対し、出動できる体制を整えていた。

・その他、院内心肺蘇生法教育実行委員会が主催したコースを、医師、看護師、技師、事務を含め、208名が受講。(H21)